

企画展

自然教育園の歴史

The History of Institute for Nature Study

太古の昔から人々の営みが続いてきた白金の地。江戸時代には高松藩主・松平讃岐守の下屋敷となり、明治以降は御料地として、豊かな自然が大切に守り受け継がれてきました。江戸から現代へと続く園内の歩みと、歴史を感じる散策のヒントをご紹介します。

【自然教育園にまつわるできごと】



自然教育園の土地は、
大火や地震、様々な歴史を
乗り越えてきたのじゃ

スダジイ
(300歳)

このスダジイは
250歳ぐらい
だったんだね

めばえん
(2歳)

2000年10月20日の大雨で倒伏した
スダジイの巨樹の切株

2026 10.31 | 土 |
2027 1.11 | 月・祝 |

開園時間：9時～16時30分 ※入園は16時まで

休園日：2026年 11/2(月)・4(水)・9(月)・16(月)・24(火)・
12/21(月)・28(月)～2027年 1/4(月)

入園料：320円

※高校生以下・65歳以上・障害者の方とその介護者1名まで無料(要証明書)

主催：国立科学博物館附属自然教育園

協力：東京都庭園美術館

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園

(港区白金台)
Institute for Nature Study, National Museum of Nature and Science

東京都港区白金台5-21-5 03-3441-7176(代表)



自然教育園HP



国立科学博物館は2027年
に開館150周年を迎えます